

オンラインミーティングでつながるボランティア

「5歳」になったスポボラサプリ

北は北海道から南は九州までスポーツボランティアを中心にスポーツにかかわる人たちが、定期的に情報交換・交流をしているオンラインミーティングがあります。

ミーティングタイトルは「スポボラサプリ」。登録参加メンバーは11月1日現在で269人。半数は全国のスポーツボランティアで、スポーツイベント・指導にかかわる行政スタッフ、JリーグやBリーグなどのプロスポーツ関係者、企業、大学など多彩な顔ぶれがZoom企画に参加しています。

初ミーティングは2020年6月7日でした。タイトルは「ラグビー・ワールドカップから学ぶこと」。2019年のラグビーW杯組織委員会でボランティアマネージャーを務めた神野幹也さんが、W杯の魅力とボランティア運営の舞台裏を熱く語ってくれました。

きっかけは、2019年12月に中国で発生した新型コロナウイルスです。

宮城県仙台市でJリーグをサポートする方々が集まる「全国ホームタウンサミット」が開催され、そこに参加したボランティアがつながり、全国のスポーツボランティアとメーリングリストをつくり、バーチャルやリアルで交流を深めていたのが、コロナ禍の拡大で突然、ボランティア活動の場所が消えてしまいました。

「私たちの活動は復活できるのだろうか」。「不安を拭い、元気と笑顔を創るサプリメントのような企画ができないか」。メーリングリストの運営をしていた仙台市の泉田和雄さん(73)や全国のボランティアの有志が連絡を取り合って、誕生したのがスポボラサプリです。

基本は月に1回のペース。参加しやすい午後7時から1時間半程度のオンラインでのミーティングです。全国各地にいる事務局メンバーが企画を練り、テーマや講師を検討し、各地のボランティア活動事例の紹介、スポーツ関係者による講演などを参加者が聴き、講演後はZoom機能を活用してのオンラインの意見交換、懇親会があります。登録メンバーはテーマや自分の日程に合わせて参加します。

スポボラサプリはこれまで80回近い回数を重ねてきました。最近では「スポーツボランティアが体感した大阪・関西万



コロナ後はリアルに集う懇親会も開催

博のおもてなし」、「スポーツイベントをきっかけとした地域ボランティアの仕組みづくり」、「デフサッカーの現在と未来」などさまざまなテーマで、講演と意見交換が行われています。

2023年10月には「プロスポーツとボランティア」というテーマでプロ野球・日本ハムファイターズの広報担当の福家利哉さん、サッカー・Jリーグ社会連携部の鈴木順さん(肩書はいずれも当時)らが登場しました。コロナ禍が終息してからは、各地の仲間がリアルに集う懇親会も行われています。

北海道関連では2025年2月に、プロ野球独立リーグ・北海道フロンティアリーグに所属する美唄ブラックダイヤモンド球団補佐で、株式会社ジャパン・ベースボール・マーケティング代表取締役会長の村山哲二さんが「BCリーグのめざすもの2025～地域と共に、人とともに～」と題して独立リーグの理念を話してくれました。

泉田さんは、スポボラサプリの効用を「有識者や全国の仲間から学びスポボラ活動を豊かにする」、「全国の仲間とつながり、お互いの強みを増幅」「共通の課題、悩みと向き合い突破口を開く」の3つといいます。

スポーツボランティアやスポーツが大好きなメンバーが語り合う。そんなオンラインミーティングはスタート5年を経過して、さらにパワーアップを目指しています。

スポボラサプリの参加に資格制限はなく無料です。Zoomミーティングに参加してみたいという人は、右側のQRコードから申し込みができます。



寄付のお願い

認定NPO法人ランナーズサポート北海道では、北海道のランニング文化の健全な発展やスポーツボランティアの拡充のために、企業・団体・個人からの寄付を募っています。2013年7月に認定NPO法人となったことで、税制上の優遇措置が受けられるようになりました。寄付をしていただいた個人は所得税と住民税、法人は法人税が減額され、納めた税金の一部が戻って来ます。いずれも当NPO法人の発行する領収書を所轄の税務署に提出して申告することが必要です。クレジットカードによる寄付もできます。

詳しくはランナーズサポート北海道ホームページ

<https://runsupport-h.org/>の「寄付のお願い」の項目をご覧ください。

★編集後記★

風邪ではないのに、鼻水や鼻づまりが起きる寒暖差アレルギー。アレルギーと名がついていますが、免疫が誤反応するアレルギーではなく、7℃以上の温度差で鼻の粘膜の自律神経が変調をきたす血管運動性鼻炎というのが正しい名前だそうです。寒暖差が大きい北海道では発症例が多く、秋から冬に変わる時期と、春に向かう時期が要注意。外出時のマスク着用や、マフラー、カーディガンなどこまめな寒暖対策、そして適度な運動とストレスをためない規則的な生活が効果的とのこと。ご自愛ください。(K)